



「成長し合える」学校に！

～校長先生 7月4日朝会 講話より～

この土日、中総体の大会の応援に行ってきました。まず拍手を送りたいです。よく頑張りました。うだるような暑さの中、時折、激しさを増す雨の中、皆全力でプレーしていました。ペアやチーム内で互いを励まし、アドバイスしながらプレーしている姿がみられました。リードされながらも、粘り強く攻撃に耐えつつ、チャンスをうかがい一気に反撃する姿が見られました。とても素晴らしいと思いました。また、結果が決まったとき、涙をこらえきれない姿もありました。私は、それがとても素晴らしいと感じました。負けて悔しいという気持ちもあると思いますが、もっと仲間と一緒にプレーを続けたいという気持ちもあったのではないのでしょうか。これまで頑張ってきたことを思い出し、楽しかったこと、うまくいかずに落ち込んだこと、チームのみんなと乗り越えたことなど、様々な思い出があふれたのではないのでしょうか。結果も大切ですが、それがすべてではありません。私は、試合やコンテストなどは、「成長の場」だと考えています。試合やコンテストの中で様々なことを感じ考え、取り組み、反省し、やり直す。それをくり返すことで人は成長していくものだと思います。それは、プレイヤーばかりではありません。応援している人も、観戦している中で、友達や先輩の姿を見て、様々な思いをもつはずです。まさに今皆さんは、心も体も成長している最中なのです。この機会を大切にしてほしいと思います。

来週からも、多くの部が大会を控えています。今までの練習の成果を生かし、選手の皆さんは全力でプレーをしてきてください。応援する皆さんは全力で応援に取り組んできてくださいね。

皆さんの後ろにはチームメイトや先生方、保護者の皆さん、そして、この弥北中の「なかま」がいます。みんなが皆さんを応援しています。安心して競技してください。

ただ、無理は禁物です。ニュースでも熱中症で倒れてしまった事例を目にしますが、夢中になっていると、体の不調がわかりにくくなってしまいます。「自分の命は自分で守る」ことを忘れないでください。

では、皆さん、がんばってきてください。健闘を祈っています。